

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 5 区分

【発行日】令和 3 年 1 月 21 日 (2021.1.21)

【公開番号】特開 2020-69888 (P2020-69888A)

【公開日】令和 2 年 5 月 7 日 (2020.5.7)

【年通号数】公開・登録公報 2020-018

【出願番号】特願 2018-204690 (P2018-204690)

【国際特許分類】

B 6 2 M 6/45 (2010.01)

B 6 2 M 6/50 (2010.01)

B 6 2 M 25/08 (2006.01)

B 6 2 J 99/00 (2020.01)

B 6 2 J 45/40 (2020.01)

B 6 2 J 1/00 (2006.01)

【F I】

B 6 2 M 6/45

B 6 2 M 6/50

B 6 2 M 25/08

B 6 2 J 99/00 K

B 6 2 J 99/00 J

B 6 2 J 1/00 C

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 12 月 4 日 (2020.12.4)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 1 1 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 1 1 2】

以上の処理を経て、ステップ S 6 1 からステップ S 6 5 の処理を終了する。制御部 2 2 は、例えばステップ S 6 1 からステップ S 6 5 の処理を繰り返し実行してもよく、人力駆動車 A が発進するタイミングにおいてステップ S 6 1 からステップ S 6 5 の処理を実行してもよい。図 1 3 に示されるステップ S 6 1 からステップ S 6 5 の処理において、ステップ S 6 2 およびステップ S 6 3 の処理、ならびに、ステップ S 6 4 およびステップ S 6 5 の処理の 1 つの組合せを省略してもよい。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 1 1 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 1 1 9】

制御部 1 2 は、例えば第 1 所定条件が成立すると、前輪 W F が地面から受ける衝撃の緩和性が大きくなるようにフロントサスペンション S F を制御する。具体的には、制御部 1 2 は、第 1 所定条件が成立すると、フロントサスペンション S F の変位状態がロック状態からアンロック状態となるように、または、フロントサスペンション S F のトラベル量が大きくなるようにフロントサスペンション S F を制御する。フロントサスペンション S F のロック状態では、フレーム A 1 に対する前輪 W F の相対移動が規制される。フロントサスペンション S F のアンロック状態では、前輪 W F がフレーム A 1 に対して相対移動する

。制御部 12 は、例えば第 2 所定条件が成立すると、後輪 WR が地面から受ける衝撃の緩和性が大きくなるようにリアサスペンションを制御する。具体的には、制御部 12 は、第 2 所定条件が成立すると、リアサスペンションの変位状態がロック状態からアンロック状態となるように、または、リアサスペンションのトラベル量が大きくなるようにリアサスペンションを制御する。リアサスペンションのロック状態では、フレーム A1 に対する後輪 WR の相対移動が規制される。リアサスペンションのアンロック状態では、後輪 WR がフレーム A1 に対して相対移動する。制御部 12 は、例えば第 3 所定条件が成立すると、車輪 W が地面から受ける衝撃の緩和性が大きくなるようにサスペンション SU を制御する。具体的には、制御部 12 は、第 3 所定条件が成立すると、前輪 WF および後輪 WR が地面から受ける衝撃の緩和性が大きくなるように、フロントサスペンション SF およびリアサスペンションを制御する。